

新子浦ルール概要

安心して過ごせ、楽しむ子浦のコンセプト

対策概要

◆入場時全員の検温を実施(子浦独自ルールとして一般的な37.5℃ではなく、より感染被疑者を除外する為に37.2℃に設定)。



◆台数(人数)制限を混雑状況により受入れ中止を実施。



◆入場時の全員の検温実施し、安全確認者にはリストバンドを販売し着用を義務化し他ゲストおよび住民からの目視を可能にする。



◆公衆トイレの清掃・消毒は専門家のガイドラインによる対策を実施
・手洗い場に除菌用石鹸＋手指消毒用アルコール設置消毒を促す看板の設置
・便座用除菌剤を個室に設置



◆自販機購入分も含めたゴミの持ち帰りの義務化
駐車場スタッフの感染防止を目的にSNSなどでゴミ袋持参を告知。
入場時にゴミ持ち帰りの同意を求め、同意者のみの入場を許す。



安心して過ごせ、楽める子浦のコンセプト

運営面の改善

- ◆管理スタッフの感染チェックおよび防備の充実
ディスポグローブ、高規格マスク、ゴーグル着用の義務化および定期的なPCR検査の施行。
- ◆感染危険度が高いスタッフには危険手当の支給(2-3,000円/日)
- ◆シャワー棟施設の再整備、抗菌塗料による再塗装、殺菌灯の設置
- ◆上記対策コストを補うために9月1日より駐車料金の値上げ
現行普通車1,000円→2,000円(案)他
- ◆事務所棟の殺菌・滅菌の強化
殺菌灯の増設およびアルコール除菌剤による噴霧、ふき取り除菌を慣行。

安心して過ごせ、楽める子浦のコンセプト

住民・ゲストへの周知と協力依頼

- ◆SNS,HPを通じて新子浦ルールおよび値上げの告知を行う。
- ◆住民への感染防止策の周知の徹底
東京などの新感染者の継続的な増加報道などで子浦地区への首都圏来訪者受入に多くの住民が不安を抱いている事は否定できないのが現状。
その不安を除くためにも外界との接点である駐車場施設に於いて、伊豆半島でもっとも厳しい感染防止対策を実施していることを正確に伝える必要がある。

リストバンド着用者を目にする事で感染防止の実質的な効果以上に区として最大限感染防止策を遂行しているを実感させることが可能に。
- ◆カヤックツアー業者
駐車料金値上げに対して多かれ少なかれ反対意見が出されることは想定済み。しかし一般的な世論でも「安全を買う」と云う意識は急速に向上しており、「安全・安心の子浦」の子浦でツアーを行う事は売上向上に繋がることの理解を得るように説明。
一般ゲストの意見では7月8月の子浦での感染症対策を実感して普通車2,000円は8割強のゲストが妥当だとの意見。
- ◆値上げ料金からマスクなどの全戸配布も要検討。

安心して過ごせ、楽める子浦のコンセプト

民宿・ゲストハウスへの感染防止策の徹底

- ◆お盆の繁忙期町役場からの規制の3蜜禁止規制に準じていない施設も正直見られた。駐車場での感染防止策の徹底だけでは「持ち込ませない、かからない、広げない新子浦ルール」の効果の盲点ともなり得ない為に「清掃マニュアル」を含めて、「安全・安心」がゲスト求める商品であること丁寧に説明し、理解を頂けるよう再告知を行う。
- ◆住民への家庭内で出来る感染防止策の周知の徹底
別途どのような啓蒙資材が適切か現在検討中。